

### 第3章 訓練参加者に対するアンケート調査

#### 3.1 アンケート調査概要

平成 28 年度の新宿駅西口地域地震防災訓練の参加者を対象に、満足度や役割の達成度等の評価および今後の課題やテーマ等を抽出することを目的としてアンケート調査を実施した。調査は、訓練当日の講評会において行われた。調査票は訓練種別に応じて作成し、参加者には各自が参加した訓練の調査票に対する回答を依頼した。回答方法は、選択肢方式および記述方式を併用し、選択肢については各問に対する肯定表現と否定表現に中間表現および中立表現を加えた 5 択方式とした。表 9 に訓練種別ごとの参加者数、アンケート回収数および回収率を示す。

表 9 訓練参加者に対するアンケート調査回収状況

訓練種別	参加者数	回収数	回収率
自衛消防訓練	34	24	71%
医療救護訓練	58	29	50%
西口現地本部訓練（現地本部要員）	19	17	89%
西口現地本部訓練（滞留者役）	18	15	83%
合計	129	85	66%

### 3.2 自衛消防訓練アンケート調査結果概要

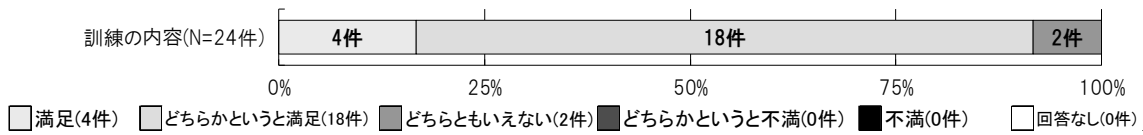
自衛消防訓練の参加者に対し、以下の設問からなるアンケート調査を実施した。

- Q1. 訓練における配置と役割をご記入ください。
- Q2. 訓練の内容はいかがでしたか？
- Q3. 訓練の難易度はいかがでしたか？
- Q4. 訓練における役割を円滑に実施できたと思いますか？
- Q5. 訓練を通じてご自身の災害対応能力を高める知識や経験が得られたと思いますか？
- Q6. 事業所（お勤め先）における災害対応力の向上に役立つ訓練だったと思いますか？
- Q7. 地域（新宿駅西口地域）における災害対応力の向上に役立つ訓練だったと思いますか？
- Q8. 今年度実施した関連する講習会への参加状況をご記入ください。
- Q9. 上記設問の講習会に一つでも参加された方に伺います。講習会で学んだことが本訓練における総合的な災害対応活動の実践に役立ったと思いますか？
- Q10. 本日の訓練の内容で事業所（お勤め先）でも取り入れたいと思う事があればお聞かせください。
- Q11. 本日の訓練について、ご感想をお聞かせください。
- Q12. お勤め先についてお聞かせください。
- Q13. 協議会へのご意見、ご質問等がございましたらご記入ください。

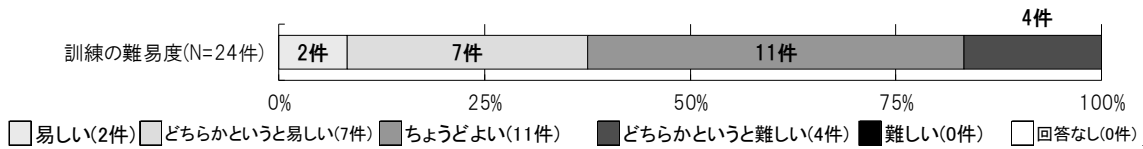
回答者 24 名の勤務先の属性は、テナント入居者が 6 名 (25%)、建物・施設管理者が 12 名 (50%)、その他が 2 名 (8%)、回答なしが 4 名 (17%) であり、勤務先で自衛消防隊の役割があると答えた方が 14 名 (58%)、自衛消防隊以外の災害時の役割があると答えた方は 7 名 (29%) であった。

図 62 および表 10 にアンケート調査結果の一部を示す。設問 2 の訓練に対する満足度は、「満足」または「どちらかという満足」と答えた方が 22 名 (92%)、「どちらともいえない」が 2 名 (8%) であった。設問 3 の訓練の難易度については、「易しい」または「どちらかという易しい」と答えた方が 9 名 (38%)、「ちょうどよい」が 11 名 (46%)、「どちらかという難しい」が 4 名 (17%) であった。設問 4 の役割を円滑に実施できたと思うかについては、「思う」または「どちらかというと思う」と答えた方が 12 名 (50%)、「どちらともいえない」が 7 名 (29%)、「どちらかというと思わない」または「思わない」が 5 名 (21%) であった。設問 5～設問 7 では、自身、事業所および地域に対して、いずれも災害対応力を高める効果を認める回答が 90%以上を占めた。設問 8 では、関連する講習会への参加率が非常に低かったことがわかる。一方、講習会に参加した 7 名に対する設問 9 では、講習会で学んだことが訓練に役立ったと思うかについて、全員が「思う」または「どちらかというと思う」と答えていることから、講習会への参加が災害対応スキルの向上に寄与したと考えられる。具体的に役立ったと思う講習会の内容として、「救助の訓練」、「iPad の使い方」、「非常事態の具体的な手順」等が挙げられた。

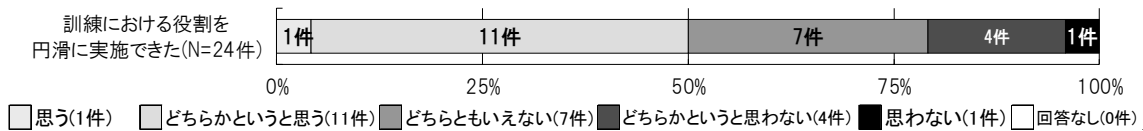
Q2. 訓練の内容はいかがでしたか？



Q3. 訓練の難易度はいかがでしたか？



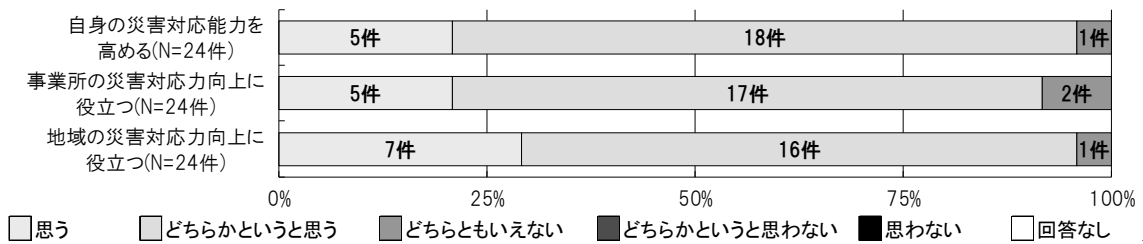
Q4. 訓練における役割を円滑に実施できたと思いますか？



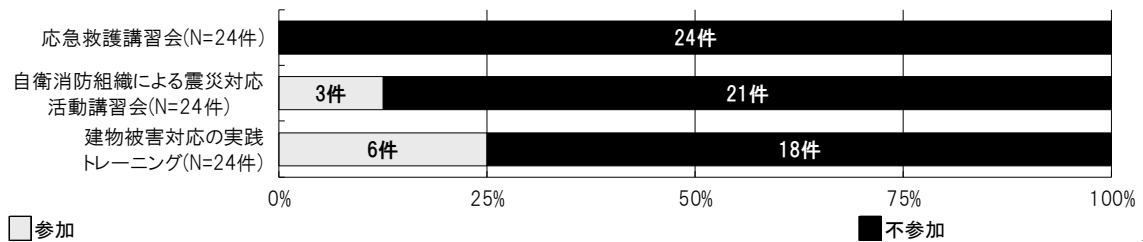
Q5. 訓練を通じてご自身の災害対応能力を高める知識や経験が得られたと思いますか？

Q6. 事業所(お勤め先)における災害対応力の向上に役立つ訓練だったと思いますか？

Q7. 地域(新宿駅西口地域)における災害対応力の向上に役立つ訓練だったと思いますか？



Q8. 今年度実施した関連する講習会への参加状況をご記入ください。



Q9. 講習会で学んだことが本訓練における総合的な災害対応活動の実践に役立ったと思いますか？  
(講習会参加者 7名に対して)

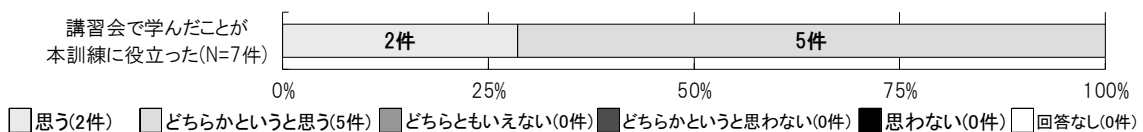


図 62 自衛消防訓練参加者に対するアンケート調査結果(1)

表 10 自衛消防訓練参加者に対するアンケート調査結果(2)

事業所でも取り入れたいと思う訓練内容（設問 10）

- ・ 自衛消防隊の班編成を入れ替えてでも、柔軟な対応を取ること。
- ・ 負傷者の搬送など、役割を越えて対応する場面、その指示など。
- ・ 情報の仕分け・開示(皆に見えるように表示)することなど、即時に対応すること。
- ・ 情報の伝達、共有の訓練が出来たらよいと思った。
- ・ 建物被害部位の確認のしかた。安全性の判定を行い、継続使用出来るか判断すること。
- ・ 担架搬送の実技、担架搬送の指揮、応急救護。
- ・ 地区隊長の役割について。
- ・ 傷病手当(添え木の当て方)など。
- ・ 年2回の防災訓練を実施しているが、情報の共有化が参考になった。
- ・ 傷病者観察記録シート。三角巾の使用については、大変参考となった。
- ・ マニュアルなしの訓練(個々の判断を確認する)。
- ・ iPadを取り入れた災害状況把握を取り入れたい。
- ・ チェックシート、iPad。
- ・ iPadのアプリ。
- ・ 避難訓練がメインになっているが地区隊の活動が実際に出来ているかの不安。今回のような訓練を取り入れてもらいたい。災害発生時において情報の必要性を再確認した。

良かった点（設問 11）

- ・ iPad等、新しい技術を震災対応に生かしていること。
- ・ 都度フォローを入れていただいたので助かった。
- ・ 2つの異なる班・役目を経験、訓練できよかった。
- ・ 三角巾の使い方を実施で学べた。
- ・ 手が空けば、すぐに大変そうな班をフォローできた。
- ・ 全体的に流れの中で行動できた。
- ・ 災害が起きた時にどのようにするべきか理解できたこと。
- ・ セミナーに出た方と組めたことで不安点が確認できた。
- ・ 具体的な流れが把握できた。
- ・ 手当での仕方を学べた。トリアージの重要性。
- ・ 各班の動きを大方つかめた。
- ・ 安全防護班として、すぐに現場の被害確認が出来たこと。
- ・ 大規模災害時における対応(特に安全防護)において最新の機器を取り入れて情報収集、情報連絡が円滑になると思った。
- ・ 実際に応急手当をすることが出来た。昨年より災害時の行動の流れがよくわかるようになった。
- ・ 皆が真剣に取り組んでいた。

改善点（設問 11）

- ・ 地区隊長だけでも事前に流れ練習を1回しておけば、指示に戸惑うところがないと思った。
- ・ 地区隊長にはもう少し指示の流れを伝えておくと良かったと思う。
- ・ 誰がどう動いているのか、状況を理解するのに時間を要した。
- ・ 建物被害細部の確認。(電子機器を使用しての報告)
- ・ マイクが必要では?伝達事項が聞き取れない。
- ・ 通報連絡班の情報収集について、ホワイトボードにフォーマットがあると良い。
- ・ 自己紹介の際、リスト順だったが各役割順にすればよいと思う。
- ・ 何をやるのか明白にしてもらいたい。
- ・ 地区本部を離れると他の情報が全く入らないので、火事も消火後に判明。何か放送手段があれば。
- ・ 手の空く時間が多かったのもう少し難しめの難易度で良かった。
- ・ 放送が良くならなかった。
- ・ 安全防護班としての仕事に取り掛かるので遅れてしまった。
- ・ 避難誘導班で避難訓練が出来るまで突っ立っていたこと。
- ・ 非常放送が活用できていなかったのも情報が入ってこなかった。避難訓練において実際に訓練する人を傷病人同様に置けばよかったと思った。
- ・ 本部からの放送が聞こえず、状況が良く分からなかった。
- ・ 通信機器が機能しなかった。開始前までバタバタしていた。自己紹介ができなかった。

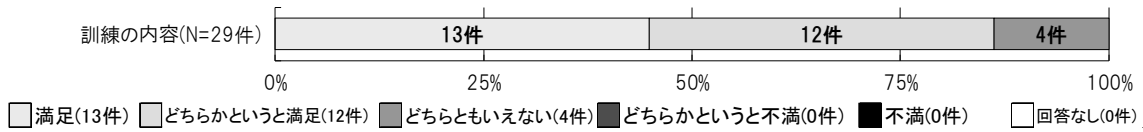
### 3.3 医療救護訓練アンケート調査結果概要

医療救護訓練の参加者に対し、以下の設問からなるアンケート調査を実施した。

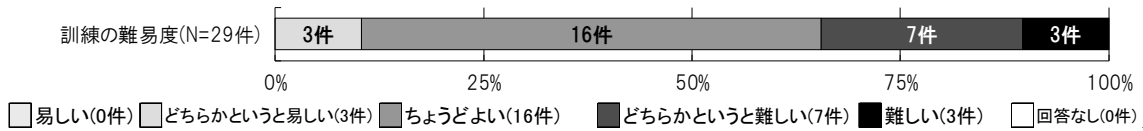
- Q1. 訓練における配置と役割をご記入ください。
- Q2. 訓練の内容はいかがでしたか？
- Q3. 訓練の難易度はいかがでしたか？
- Q4. 訓練における役割を円滑に実施できたと思いますか？
- Q5. 訓練を通じてご自身の災害対応能力を高める知識や経験が得られたと思いますか？
- Q6. 事業所（お勤め先）における災害対応力の向上に役立つ訓練だったと思いますか？
- Q7. 地域（新宿駅西口地域）における災害対応力の向上に役立つ訓練だったと思いますか？
- Q8. 今年度実施した関連する講習会への参加状況をご記入ください。
- Q9. 上記設問の講習会に一つでも参加された方に伺います。講習会で学んだことが本訓練における総合的な災害対応活動の実践に役立ったと思いますか？
- Q10. 本日の訓練の内容で事業所（お勤め先）でも取り入れたいと思う事があればお聞かせください。
- Q11. 本日の訓練について、ご感想をお聞かせください。
- Q12. 勤め先についてお聞かせください。
- Q13. 協議会へのご意見、ご質問等がございましたらご記入ください。

回答者 29 名の勤務先の属性は、テナント入居者が 4 名 (14%)、建物・施設管理者が 9 名 (38%)、その他が 4 名 (14%)、回答なしが 12 名 (41%) であり、勤務先で自衛消防隊の役割があると答えた方が 6 名 (21%)、自衛消防隊以外の災害時の役割があると答えた方は 6 名 (21%) であった。**図 63** および **表 11** にアンケート調査結果の一部を示す。設問 2 の訓練に対する満足度は、「満足」または「どちらかという満足」と答えた方が 25 名 (86%)、「どちらともいえない」が 4 名 (14%) であった。設問 3 の訓練の難易度については、「どちらかという易しい」と答えた方が 3 名 (10%)、「ちょうどよい」が 16 名 (55%)、「どちらかという難しい」または「難しい」が 10 名 (34%) であった。設問 4 の役割を円滑に実施できたと思うかについては、「思う」または「どちらかというと思う」と答えた方が 13 名 (45%)、「どちらともいえない」が 6 名 (21%)、「どちらかというと思わない」または「思わない」が 10 名 (34%) であった。設問 5～設問 7 では、自身、事業所および地域に対して、いずれも災害対応力を高める効果を認める回答が 75%以上であった。設問 8 では、関連する応急救護講習会への参加率が非常に低かったことがわかる。一方、講習会に参加した 3 名に対する設問 9 では、講習会で学んだことが訓練に役立ったと思うかについて、「思う」と答えた方が 2 名 (67%)、「どちらともいえない」が 1 名 (33%) であった。具体的に役立ったと思う講習会の内容として、「応急救護等の対応や処置」が挙げられた。また、現地本部運営シミュレーション訓練（講習会）参加者（1 名）も講習会で学んだことが役立ったと思うと答えており、具体的には、「全体が見えたのでどのような流れで進められているか理解できた」といった回答が得られた。

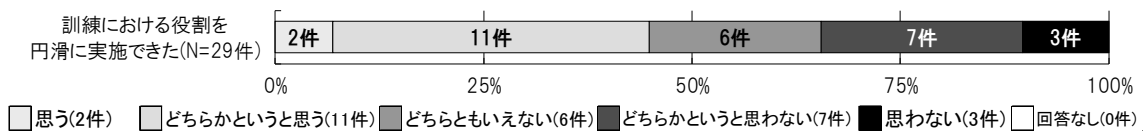
Q2. 訓練の内容はいかがでしたか？



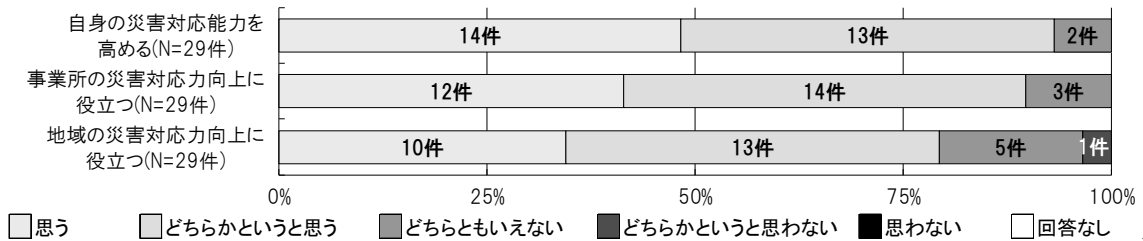
Q3. 訓練の難易度はいかがでしたか？



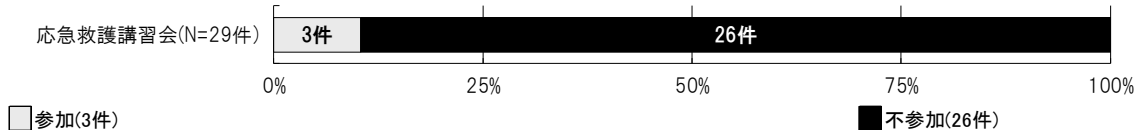
Q4. 訓練における役割を円滑に実施できたと思いますか？



- Q5. 訓練を通じてご自身の災害対応能力を高める知識や経験が得られたと思いますか？  
 Q6. 事業所(お勤め先)における災害対応力の向上に役立つ訓練だったと思いますか？  
 Q7. 地域(新宿駅西口地域)における災害対応力の向上に役立つ訓練だったと思いますか？



Q8. 今年度実施した関連する講習会への参加状況をご記入ください。



Q9. 講習会で学んだことが本訓練における総合的な災害対応活動の実践に役立ったと思いますか？  
 (講習会参加者 3名に対して)

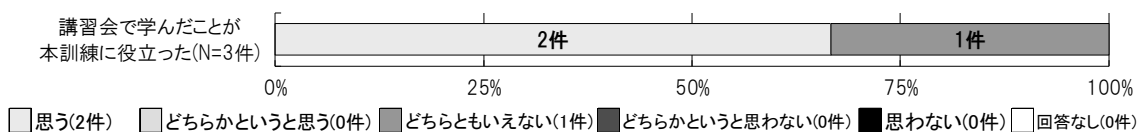


図 63 医療救護訓練参加者に対するアンケート調査結果(1)

表 11 医療救護訓練参加者に対するアンケート調査結果(2)

事業所でも取り入れたいと思う訓練内容（設問 10）

- ・ 応急救護の講習を取り入れたい。
- ・ 簡易な応急手当などは出来るだけ社内に対応し、重傷者と思われる場合は速やかに救護所に連れて行く等、社内の緊急マニュアルに盛り込めたらと思う。
- ・ 応急救護訓練を取り入れてみたい。
- ・ 情報で管理することの難しさを痛感した。
- ・ トリアージの仕方、バイタルの確認、応急救護班への引き渡し方。
- ・ 救護を開始する前に医療器材の確認を行うことが重要だと分かったので勤め先の医療従事者に周知したい。私は医療従事者ではないが災害時のため簡単な応急処置に関する知識を習得する必要があると感じた。
- ・ 救急委員でトリアージの勉強会をしたい。
- ・ 応急救護の仕方。
- ・ 担架の使い方。身近な物(代用品) で出来る応急グッズなど。
- ・ 医療救護所の訓練では今日のような情報伝達はなかなか行えないので良い経験になった。
- ・ チーム内はもちろん他のチームとのブリーフィングがいかに大切かしっかり認識すること。

良かった点（設問 11）

- ・ 役割がしっかりとっていて対応しやすかった。有識者の方のアドバイスがとてもためになった。傷病者の方の演技がリアルで臨場感があった。2回実施した事で改善してよりよい体験ができた。
- ・ 実際に、どのようなポイントを基準にトリアージされるのかが体験できた点。
- ・ 良い経験になった。
- ・ 防災活動の流れ、各情報、班の動きが一連の行動として把握でき、有効であると感じる。
- ・ 2回訓練することで1回目よりも確実に上達する事ができたので良かった。
- ・ 1回目、2回目と各々役割を変更し、全体像を把握できた。
- ・ トリアージタグを使用しての訓練が初めてで戸惑うことも多かったが素早くトリアージしていく方法も経験できた。情報伝達の効果的なやり方を学ぶ事ができた。
- ・ 評価されると聞き、トリアージの判断基準を必死に覚えられた。
- ・ 訓練後の振り返りで注意点、改善点を共有できたこと。
- ・ トリアージの実際を体験することができた。
- ・ 医療救護所で行われる内容を知ることが出来た。
- ・ 患者役の方の設定や演技がリアルで（実際はもっと色々あるでしょうが）資料を読むだけではないイメージ付けに役立った。災害時の情報共有や連携の難しさを学べた。真面目な訓練だけでなく、ベスト演技賞のような設定があるのも良かった。振り返りを入れて、2回出来たのが良かった。
- ・ 応急救護についての実演（三角巾の使い方等）。応急救護訓練が初めてであった為、自分が出来る事を理解する事が出来た。
- ・ 応急手当について特に大災害時にはその場にある物を役立てる感覚が有効であると思った。難易度の高い状況設定ではなかったように思われたが、その位であるが故に全く残らない結果にはならない内容だと思った。
- ・ 一度目の訓練では役割分担が明確でなかったため、もたつく場面があったが二度目の訓練では役割を明確にし、皆さんが主体的に実施できた。2回訓練をやるのは有意義と感じた。医師会、病院、区協議会の連携の重要性を感じる事が出来た。日頃からの連携した訓練実施の必要性も感じた。
- ・ 新宿区内で医療救護所を開設する部署のため実践的な訓練は参考になった。情報伝達、各々の役割間でのコミュニケーションがスムーズにいかない点が良くわかった。
- ・ 職場での年2回の医療救護所訓練しか行っていないので勉強になった。色々な役割を体系立てて知ることが出来た。
- ・ トリアージの判断基準が分かったが、実際には判断にかなり迷いや違いが出るということがわかった。
- ・ 混乱する現場を想像すると少しでも経験することが大切だと思った。
- ・ 2回続けて訓練できたこと。本番を想定することが出来たこと。
- ・ 2回目では班同士や傷病者の方へ声掛け等、上手くいったと思う。
- ・ アドバイザーの方のコメントが勉強になった。全員で役割確認したことで他の役割の人にも目が行くようになった。
- ・ 実際に多くの傷病者が発生した際の対応の難しさがよくわかった。

- ・ 1回目はどこまで手を出してよいのか迷ったがそれによって必要な情報伝達（収集）が出来ないことが分かったので2回目に向け、チームで改めて役割確認をしたら2回目はかなり改善した。

#### 改善点（設問 11）

- ・ 参加人数を増やして更に大きな訓練にしてほしい。事前講習で、もう少し知識を入れてから訓練したい。
- ・ 自分は傷病者役をやったが、説明時「どのようなレベルで演技を行うか」ということについて、ノート PC 等にてビデオを活用するとわかりやすいと思う。
- ・ 各々の役割を事前にしっかり把握する必要があると思った。ミーティングの時間を長めに取れると良いと思った。
- ・ 事前のルール等の取り決めが曖昧な所があり、混乱した。
- ・ 実際のトリアージ訓練の中では基準も飛んでしまい、焦った。このような訓練にまた参加し、トリアージにも慣れていきたい。チーム内の声掛け、報告、応急救護班への引渡し方などコミュニケーションの取り方。
- ・ 手荷物の置き場に困った。貴重品を常に携帯するのであれば小さい鞆を持って来るなど対応が出来るため。
- ・ 女性の更衣室があると良かった。
- ・ 本来、臨機応変に行うものと思うが、前提としての責任分担の境目はもう少しはっきりと定義されていると判り易いのではないかと思った。
- ・ 自分のチーム内では比較的コミュニケーションは取りやすいが、他のチーム（応急救護、医療救護）とはなかなか難しかった。実際に仮想ではなく、西口に立ち上げることを都として区も交えて現実的に協議していく必要があると思った。
- ・ 医療知識がない人がもう少し医師、看護師に話し掛けられるようにして頂きたい。いつ訓練が始まったのか分かりづらかった。
- ・ 訓練がいつの間にか始まり、応急救護班は何が起きているのかわからなかった。
- ・ チーム間の連携が難しい。声を掛けづらい。電源がもし使えなかったらかなり厳しいと思う。トリアージの方法（内容）の共有が難しい。（記載事項、切り取るタイミング、書いている内容が分からない等）
- ・ 医療救護所には専門職である保健師が出向き、医師の手伝い（トリアージ、応急処置等）をすることになるが、タグの書き方から学ぶが必要であることがわかった。災害時に備えることが早急に必要と思われる。
- ・ 情報連絡班、医療救護班、応急救護班の間で事前打ち合わせ、事後反省会をしなかったため情報伝達があまり上手くいかなかった。



### 3.4 西口現地本部訓練アンケート調査結果概要

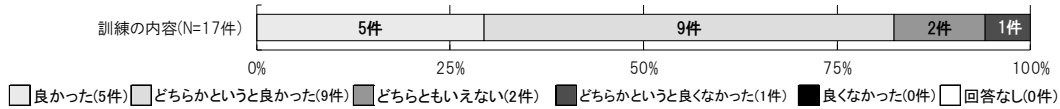
#### 3.4.1 現地本部要員を対象とするアンケート

西口現地本部訓練の参加者のうち、現地本部要員に対し、以下の設問からなるアンケート調査を実施した。

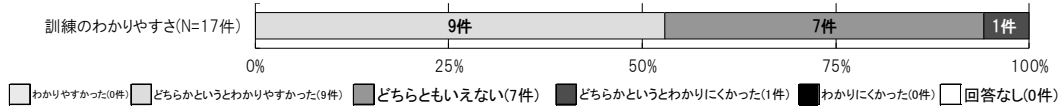
- |  |
|--|
| <p>Q1. 訓練の内容はいかがでしたか？</p> <p>Q2. 訓練のわかりやすさはいかがでしたか？</p> <p>Q3. 訓練における役割を円滑に実施できましたか？</p> <p>Q4. 訓練において「上手くできた」「上手くできなかった」ということをそれぞれお書きください。</p> <p>Q5. 手順書の使いやすさやとるべき行動のわかりやすさはいかがでしたか？</p> <p>Q6. 様式（ホワイトボードに掲示された）の使いやすさ、表示内容などはいかがでしたか？</p> <p>Q7. 本日の訓練を通して西口現地本部の役割や機能を理解することが出来ましたか？</p> <p>Q8. 本日の訓練が、新宿駅周辺地域で起きる地震被害や地域で必要となる災害対応のイメージづくりに役立ちましたか？</p> <p>Q9. 今回のような図上演習形式での訓練は災害対応力を高めるうえで有用だと思いますか？</p> <p>Q10. 西口現地本部に期待する役割や、西口現地本部から提供してほしい情報についてお聞かせください。</p> <p>Q11. 西口現地本部の役割や活動について改善すべきと感じた点があればお聞かせください。</p> <p>Q12. 西口現地本部は、新宿駅周辺の混乱防止を図るため、地域事業者の皆様と新宿区が連携して開設・運営していくものです。災害時に西口現地本部を機能させ、地域で有効に活用していくためのアイデア等があればお聞かせください。</p> <p>Q13. 訓練を通して大規模地震等への対策について認識を新たにすることがあればお聞かせください。</p> <p>Q14. お勤め先において、災害時に対応すべき役割を担っていますか？</p> |
|--|

回答者 17 名の属性（設問 14）は、勤務先で災害時に対応すべき役割があると答えた方が 3 名（18%）、ないと答えた方が 7 名（41%）、回答なしが 7 名（41%）であった。図 64 および表 12 にアンケート調査結果の一部を示す。設問 1 の訓練に対する満足度は、「良かった」または「どちらかという良かった」と答えた方が 14 名（82%）、「どちらともいえない」が 2 名（12%）、「どちらかという良くなかった」が 1 名（6%）であった。設問 5 の手順書の使いやすさやとるべき行動のわかりやすさについては、「わかりやすかった」または「どちらかというわかりやすかった」と答えた方が 6 名（35%）、「どちらともいえない」が 11 名（65%）であり、「どちらともいえない」と答えた方の理由として、「資料の受け取りが当日であったため、理解する時間が無かった」などが挙げられた。一方、設問 8 の災害対応のイメージ作りに役立ったかについては、17 名全員から「役立った」または「どちらかという役立った」という回答が得られた。設問 10 の西口現地本部に期待する役割や、西口現地本部から提供してほしい情報については、「外国人観光客、子供、お年寄り、さまざまなシーンに答える体制をとる必要があると思う」といった役割に対する期待や、「被災情報、インフラ情報、帰宅困難者の動静、備蓄品の共有」といった提供情報の要望等が挙げられた。

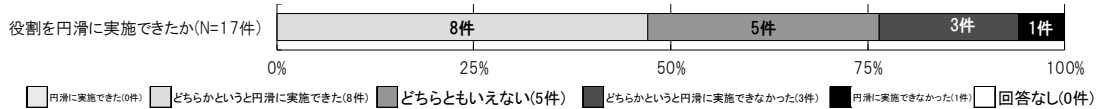
**Q1. 本日の訓練に参加した感想はいかがでしたか？**



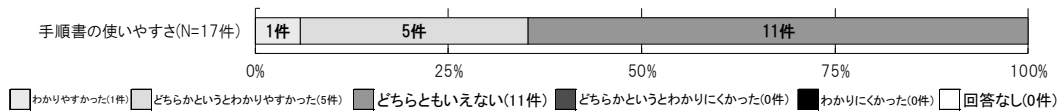
**Q2. 訓練のわかりやすさはいかがでしたか？**



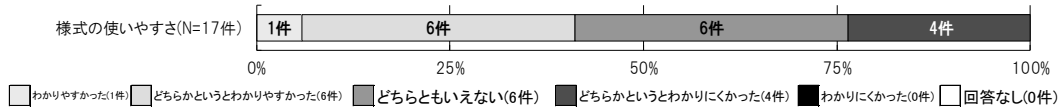
**Q3. 訓練における役割を円滑に実施できましたか？**



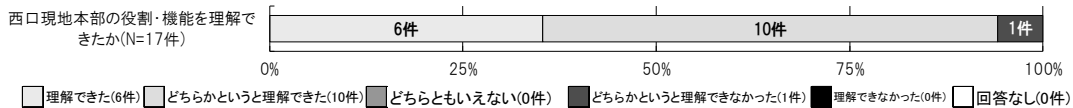
**Q5. 手順書の使いやすさやとるべき行動のわかりやすさはいかがでしたか？**



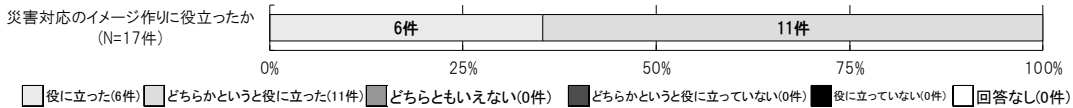
**Q6. 様式の使いやすさ、表示内容などはいかがでしたか？**



**Q7. 西口現地本部の役割や機能を理解することが出来ましたか？**



**Q8. 新宿駅周辺地域で起きる地震被害や地域で必要となる災害対応のイメージづくりに役立ちましたか？**



**Q9. 今回のような図上演習形式での訓練は災害対応力を高めるうえで有用だと思いますか？**

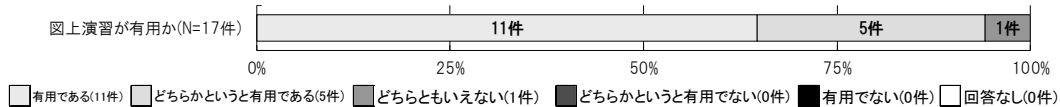


図 64 西口現地本部訓練参加者（現地本部要員）に対するアンケート調査結果(1)

表 12 西口現地本部訓練参加者（現地本部要員）に対するアンケート調査結果(2)

訓練において「上手くできた」と思うこと（設問 4）

- ・ 各班がばらばらになりがちだったので、重要情報や目指す行動について共有したことは良かったと思う。
- ・ 整理班への伝達。
- ・ 近くの滞在施設の受け入れ状況についてはうまく伝えられたと思う。
- ・ 班員の中での情報共有はそれなりに出来た。
- ・ ホワイトボードへの記入などその場で工夫できた部分がうまく出来たと思うが、実際にはあらかじめ決められたルールに従って処理するほうが混乱しないと感じた。
- ・ 初対面ではあったが、うまく協力しながら作業を進めることが出来た。
- ・ 情報整理において重要情報などの共有ができた。
- ・ 今までのことを活かしながら対応できた。情報をしっかり伝えられた。
- ・ 情報共有班内での情報の確認。
- ・ 役割が明確であり、一部改善するポイントはあったものの組織なども異なる中で、それなりに本部対応が出来た。ホワイトボードをとシステムの両方に入力できたことを確認するために、帳票にそれぞれマークをつけるなど、即席でルールを決められたことは良かった。
- ・ 情報の伝達。

訓練において「上手くできなかった」と思うこと（設問 4）

- ・ 各班の連携がうまく取れなかった。
- ・ 被災情報が入っても掲示しなかったため、情報を活かせなかった。
- ・ 無線の使い方が分かりづらかった。
- ・ 同じ班の中での役割分担が曖昧なままで同じ情報を 2 人で収集してしまうことがあった。
- ・ 無線を取った状態ではメモを取るが出来ず、うまく伝えることが出来なかったと思う。
- ・ 班員以外の他との連絡や情報収集がいまひとつ円滑に出来なかった。
- ・ 無線通話、伝達
- ・ 状況の説明など協力体制や、役割分担などが把握できておらず、円滑なコミュニケーションをうまく取れなかったと感じる。
- ・ 与えられた役目以上の想定外のことにもう少し柔軟に対応できる余地があった。
- ・ 情報の伝達に難しいことがあった。
- ・ 新宿のビルがどこにある課など地理が頭に入っていなかった。時間の記入がきちんとできなかった。
- ・ システム（アプリケーション）に反映されていない情報は更新することが出来ずに終わった。
- ・ 班内においては、集約班と共有班の役割が一部不明確だった（ホワイトボードの記入等）。
- ・ SIP のシステムについては、ホワイトボードの代わりになるものもあるかと思われ、本部内での積極的活用を検討して欲しい。
- ・ ホワイトボードの記載事項を消してしまうなどの状況が見られ、本来ならば残すべきだと思う。
- ・ 新宿の地理感が乏しく、場所を言われても頭の中で地図をイメージしにくかった。
- ・ ボランティア派遣依頼時に、ビル名しか何わず、本来は、ビルのどこのフロアへ行けばよいのか、派遣依頼先の担当者名を伝達しなければ、路頭に迷う可能性があると思った。
- ・ 派遣・提供可能の増減の記入がまとまらず、確認しづらいと思った。
- ・ 何時ごろから派遣・提供が可能かなどの記入も出来るといいと思った。

西口現地本部の役割や活動について改善すべきと感じた点（設問 11）

- ・ 有用な情報の発信。
- ・ 情報、人、物資を必要な人、必要な場所にいかにスムーズに届けるかが大切だと思った。
- ・ 毛布、水などに対する情報は事前に把握しておくべき。
- ・ 情報の漏れがないような工夫や訓練を繰り返す必要がある。
- ・ 情報発信に際してのボード記載内容が改善すべき点と思われる。
- ・ 本当に地震が起きた際は、西口本部の立ち上がりが早くなる必要があると思った。情報収集の方法についても工夫（無線機だけでなく）が必要。
- ・ 医療救護班のロジ部隊と共有すべき情報が多数あると考えられ、他班の情報収集部隊も同じフロアで作業できるようにしたほうが良いと思われる。
- ・ 西口現地本部に参加する企業には、無線機を 1 台ずつ設置しておき日頃から使い方や、定期的な訓練を行ったほうが良いと思う。

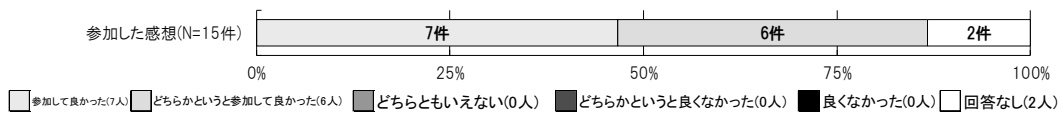
### 3.4.2 滞留者役を対象とするアンケート

西口現地本部訓練の参加者のうち、滞留者役に対し、以下の設問からなるアンケート調査を実施した。

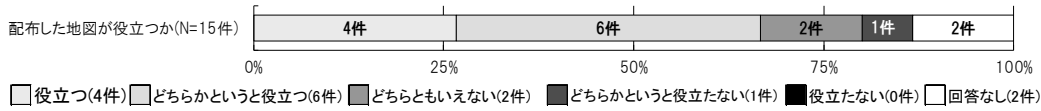
- Q1. 本日の訓練に参加した感想はいかがでしたか？
- Q2. 訓練時に配布した地図「新宿駅周辺地域と主なランドマーク地図」は、災害時に滞留者を誘導する際に役立つと思いますか？
- Q3. 工学院大学前の大型ビジョンは、災害時に滞留者を誘導する際に役立つと思いますか？
- Q4. 災害時の滞留者に対して避難場所（西口は新宿中央公園）がもつ役割を理解できましたか？
- Q5. 避難場所で案内された情報は、災害時の滞留者にとって役に立つと思いますか？
- Q6. 西口現地本部の情報を一般の滞留者と共有する仕組みである「エリア災害対応支援アプリケーション」は、滞留者の適切な防災行動を喚起するツールとして役立つと思いますか？
- Q7. その他、今回の訓練で実際に歩いてみて気づいた点、誘導に活用できそうなモノ等お感じになられたことがありましたら、具体的にお聞かせください。

図 65 にアンケート調査結果の一部を示す。設問 1 の訓練に対する満足度は、「良かった」または「どちらかという良かった」と答えた方が 13 名（87%）であった。設問 2 の「新宿駅周辺地域と主なランドマーク地図」が役立つと思うかについては、「役立つ」または「どちらかという役立つ」と答えた方が 10 名（67%）、「どちらともいえない」と答えた方が 2 名（13%）、「どちらかという役立つ」と答えた方が 1 名（7%）であり、「表はシンプルにしたほうが良い、裏に詳細を書けばよい」、「ランドマークの絵などを差し込んだほうが良い」、「避難場所以外の目印にも英語表記があるとよりスムーズ」、「すこしわかりにくい」等の意見が挙げられた。設問 6 の「エリア災害対応支援アプリケーション」が役立つと思うかについては、「役立つ」または「どちらかという役立つ」と答えた方が 10 名（67%）、「どちらともいえない」と答えた方が 4 名（27%）であり、「一時滞在施設の場所がわかるよう地図をつければより分かりやすくなる」、「駅などのパネルに大きく出して写真を各自必要に応じて撮るのが良い」、「鉄道情報、一時滞在施設の状況などが分かりやすい」、「受け入れ不可の場所にいつても可能性が大分少なくなる」等の意見が挙げられた。設問 7 の訓練で実際に歩いて気づいた点、誘導に活用できそうなモノについては、「駅近辺の天井にある案内指示板に中央公園の表示を張り紙でも、臨時に表示しても良い」、「お店の看板・自動販売機・地図・貸し自転車」、「路線バス（バス停、車両そのもの）」といった意見が挙げられた。

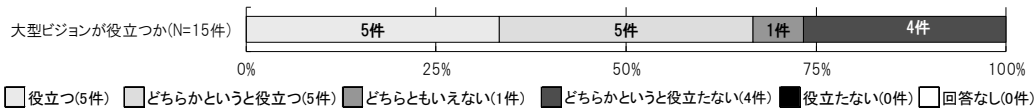
**Q1. 本日の訓練に参加した感想はいかがでしたか？**



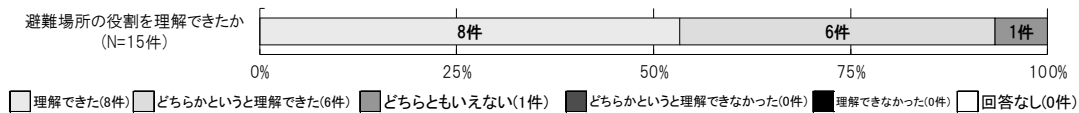
**Q2. 配布した地図は災害時に滞留者を誘導する際に役立つと思いますか？**



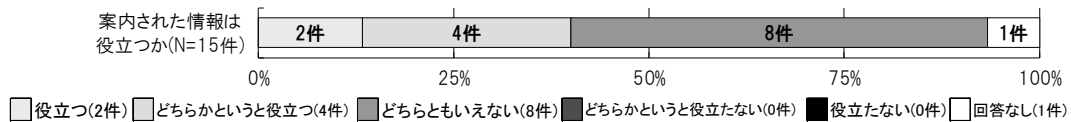
**Q3. 工学院大学前の大型ビジョンは災害時に滞留者を誘導する際に役立つと思いますか？**



**Q4. 災害時の滞留者に対して避難場所が持つ役割は理解できましたか？**



**Q5. 避難場所で案内された情報は、災害時の滞留者にとって役に立つと思いますか？**



**Q6. エリア災害対応支援アプリケーションは、滞留者の適切な防災行動を喚起するツールとして役立つと思いますか？**

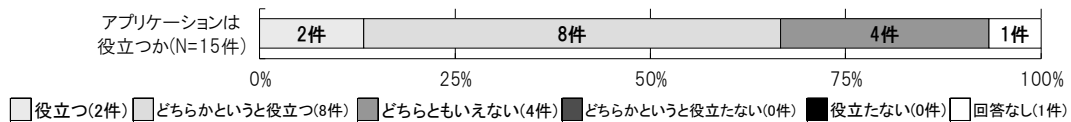


図 65 西口現地本部訓練参加者（滞留者役）に対するアンケート調査結果